屋内用

ウォータークーラー付 コロロ自動うがい器

CO-WSG

施工説明書

安全上のご注意 1

ご使用の前に、この「**安全上のご注意**」を必ずお読みのうえ正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ずお守りください。
お読みになったあとは、お使いになる方がいつでもご確認いただける場所に保管してください。
本施工説明書で不明な点は、当社のお問い合わせ窓口（裏表紙に記載）までご連絡ください。

表示の説明

⚠ 危険	誤った取り扱いをしたときに死亡や重傷（※1）などの危険がさしせまっているもの
⚠ 警告	誤った取り扱いをしたときに死亡や重傷（※1）などに結びつく可能性があるもの
⚠ 注意	誤った取り扱いをしたときに傷害（※2）、または家屋・家財などの損害（※3）に結びつくもの

図記号の説明

⃠	絶対に行わないでください
●	必ず指示に従ってください
△	注意してください

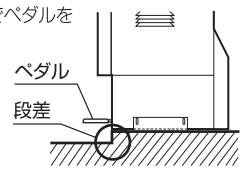
（※1）重傷とは、失明やケガ、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療のために入院や長期通院を要するものをさします。
（※2）傷害とは、治療に入院や長期通院を要さないケガ、やけど、感電などをさします。
（※3）損害とは、家屋・家財、および家畜・ペットなどに関わる拡大損害をさします。

取り付け上の注意事項

⚠ 警告

仕様に定める規格に従う。
規格外での取り付け・使用はやめてください。
感電や火災・故障の原因になります。

段差のある場所には取り付けない。
段差のある場所でペダルを踏むと、製品の転倒、ペダルの破損によるケガや故障の原因になります。



丈夫で水平な場所に確実に取り付ける。
転倒によるケガや故障の原因になります。

配管接続部は確実に締め付ける。
水漏れや液漏れの原因になります。

目次

	ページ
安全上のご注意	1
• 取り付け上の注意事項	
施工をされる前に	3
• 位置決め	
• 放熱のためのすき間について	
給水管の接続	4
排水管の接続	5
アース接続	6
本体の固定	6
冷却タンク内および配管内の洗浄	7
お問い合わせ窓口	裏表紙

付属品

- 鍵 …… 2個
- インナーチューブ付インナーキャップ …… 1セット
- ビスセット（タッピンねじ・プラグ） …… 2セット
- アース線 …… 1本
- 給水パッキン …… 1枚
- ストレーナーケース …… 1個
- 足止金具 …… 2個
- 励行パネル …… 1枚
- 励行パネルステッカー …… 3枚
- 励行パネル金具 …… 1個
- コロロ液管理カード・カード差し …… 1枚
- 施工説明書 …… 本紙
- 取扱説明書 …… 1冊

別売オプション品

- 洗眼器（専用ブラケットにて固定）

お問い合わせ窓口 サラヤ株式会社 〒546-0013 大阪市東住吉区湯里2-2-8
TEL.06（6797）2525
電話受付：平日（土日および祝祭日、弊社休日を除く）9:00～18:00
URL:http://www.saraya.com/

●お問い合わせ窓口では、製品のご使用方法やメンテナンスに関するお問い合わせ、最寄りのサービス拠点のご案内を承っております。

20091202-02

取り付け上の注意事項（続き）

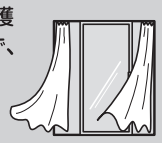
⚠ 警告

取り付けおよび移設は、お買い求めの販売店または専門業者に依頼する。
自分で工事し不備があると、水漏れや感電・火災の原因になります。

屋内で直射日光の当たる場所に取り付けない。また、高温になる場所にも取り付けない。
直射日光や調理器具・暖房器具などの熱影響を受けると、冷却力が弱くなります。

油や可燃性ガスの漏れる恐れのある場所には取り付けない。
万一ガスが漏れて製品の周囲に溜まると、発火の原因になります。

都市ガスなどのガス漏れがあったときには、本体や漏電保護プラグには手を触れず、窓を開けて換気する。
引火爆発し、やけどや火災の原因になります。



漏電保護プラグを本体の背面で押し付けない。
漏電保護プラグを傷付け、感電や火災の原因になります。

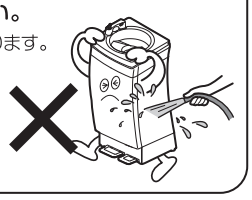
電源は交流100Vで定格15A以上のコンセントを単独で使用する。
分岐コンセントなどは使用しないでください。他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

アースを確実に行う。
故障や漏電した場合、感電の原因になります。
アース工事は必ず販売店に依頼してください。

漏電保護プラグは、コンセントに刃の根元まで確実に差し込み、ほこりが堆積しないように定期的に清掃する。
異常発熱や火災の原因になります。

設置場所によっては漏電ブレーカーの取り付けが必要。お買い求めの販売店、もしくは専門業者に依頼する。
漏電ブレーカーが取り付けられていないと感電の原因になります。

水のかかる場所や湿気の多い場所には取り付けない。
故障の原因になります。



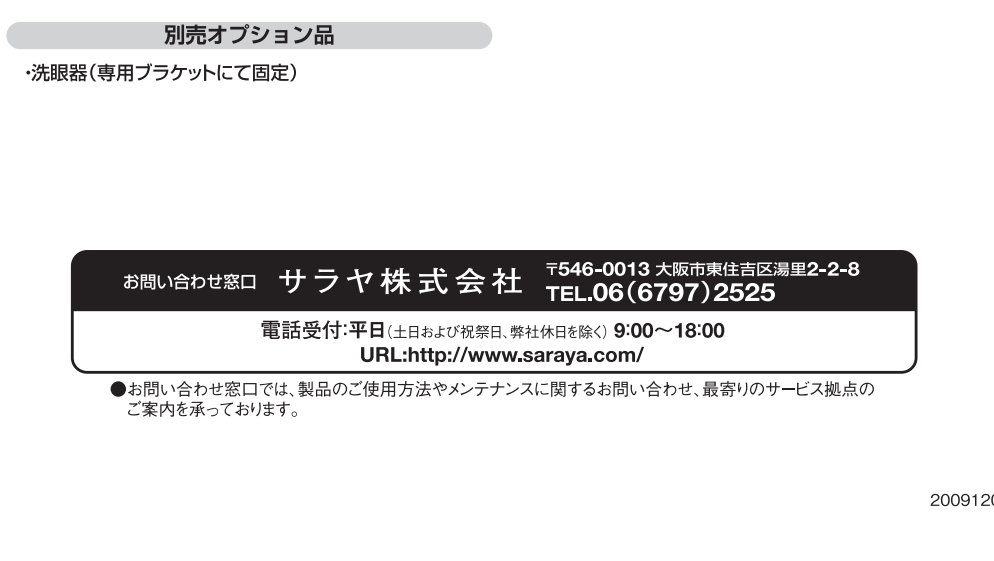
施工をされる前に 3

取り付けの際は、専門の技術が必要ですので、お問い合わせ窓口（裏表紙に記載）か、地域の水道局指定の水道工事店にご依頼ください。（取付工事は有料です）
●給水源には、必ず水質基準（厚生労働省令第101号）に適合した飲料水をご使用ください。
●給水圧は、0.1～0.75MPa（静水圧）の範囲でお使いください。
●取付場所については、取り付け上の注意事項に従いお客様の同意を得てから取り付けてください。
●施工が完了しましたら、お客様に本紙の内容をよくご説明ください。

位置決め

取り付けに適した場所をじゅうぶん確認し、配管や放熱のためのすき間を見込んで位置を決めてください。

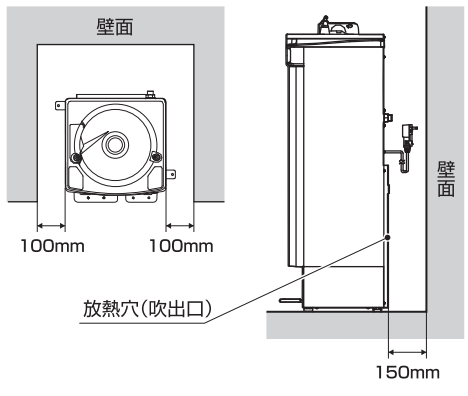
外観寸法図



放熱のためのすき間について

製品の周囲には、図のようなすき間を取ってください。すき間を取らないと冷却力が弱くなり、電気代のムダにもなります。放熱穴（吹出口）は、カバーなどで覆わないでください。

側面は100mm以上、背面は150mm以上、壁から離して取り付けてください。



給水管の接続 4

配管類は接続する前にじゅうぶん洗浄してください。配管類には、切粉、切削油、異物などが付着しています。これらが混入すると、ストレーナーが詰ったり異臭を放つ水が出る恐れがあります。

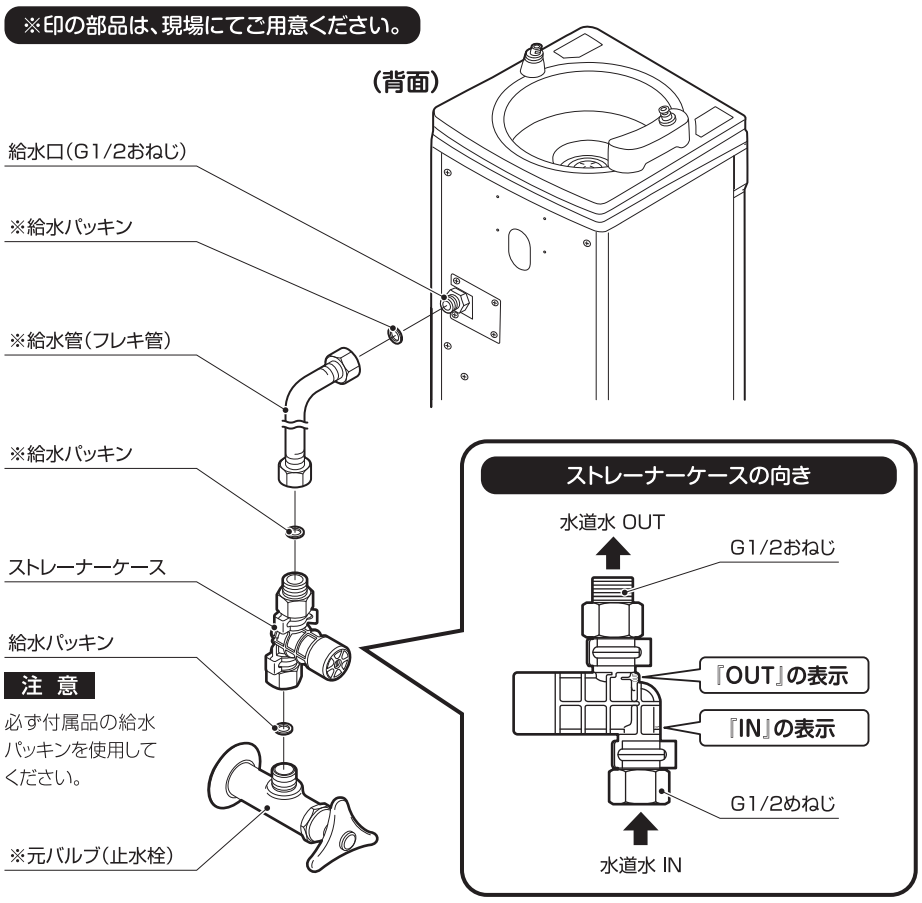
≪給水管を接続するときのご注意≫

●必ず専用の水道用元バルブを設けてください。
（周囲温度が氷点下になる場合は、水抜機構のついた元バルブを使用してください）
●接続する給水管（フレキ管）は滞留水を少なくするよう、できるだけ短くしてください。

本製品は元止式です。	ノズルからさらに配管を延長したり、その配管にバルブを接続して使用すると、冷却タンク内に大きな圧力がかかり、タンクの亀裂、水漏れの恐れがあるので、改造して使用しないでください。

ストレーナーケースを元バルブなどに接続し、背面給水口（G1/2）に給水管（フレキ管）を用いて接続します。図は、配管の一例です。

※印の部品は、現場にてご用意ください。



注 意
必ず付属品の給水パッキンを使用してください。

排水管の接続 5

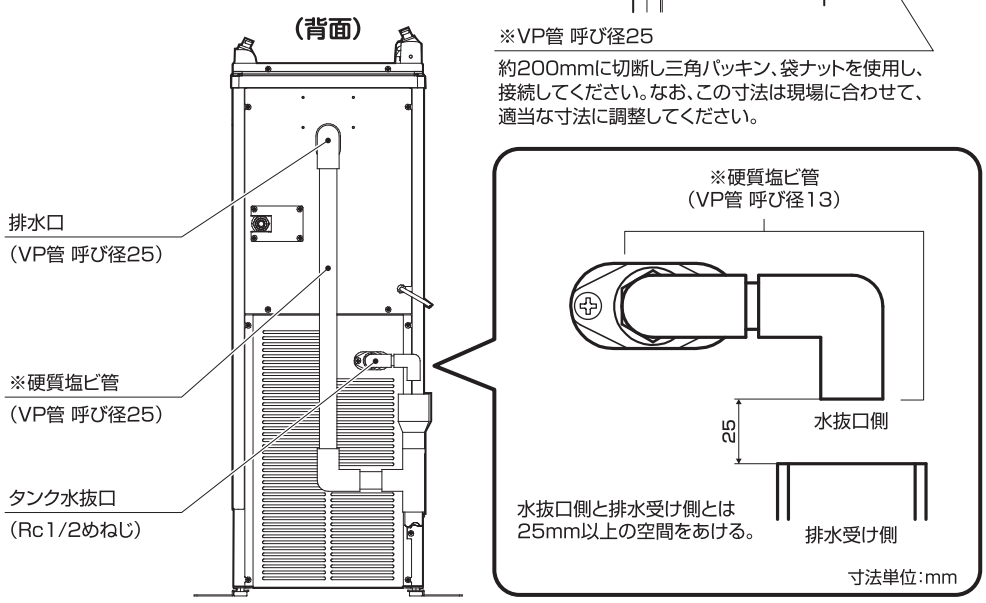
排水の配管は、硬質塩ビ管（排水の配管:VP管呼び径25／タンク水抜口の配管:VP管呼び径13）を用いて接続してください。図は、配管の一例です。

≪排水管を接続するときのご注意≫

●ウォータークーラーは水抜口に必ず配管を接続してください。水抜口を配管しないと、自動洗浄中（自動洗浄表示ランプ点滅）、水抜口から水が噴射します。
●ウォータークーラーは水抜口と排水受け側の間に必ず25mm以上の空間を空けて、逆流を防止してください。
●排水の配管は本体の排水口およびウォータークーラー水抜口よりも位置を高くしないでください。
●排水の配管は真下に向けてできるだけ短くし、曲がり部分および管の接続部分をできるだけ少なくしてください。また、途中でパイプの径を細くしないでください。
●取り付け完了後には必ず水の入れ替え（7ページ参照）を行ってください。また、水の入れ替え中は給水口から供給される水が約5分間水抜口とノズルより排水されるので、じゅうぶんな排水能力が確保されているか確認してください。

注 意
取り付けの際、必要に応じて排水トラップを設けてください。

※印の部品は、現場にてご用意ください。



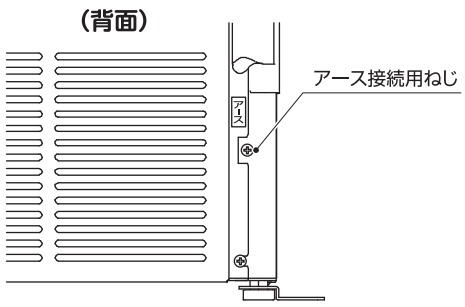
アース接続 6

アース線は背面にあるアース接続用ねじに接続してください。
次のようなところに、アース線を接続しないでください。

①水道管

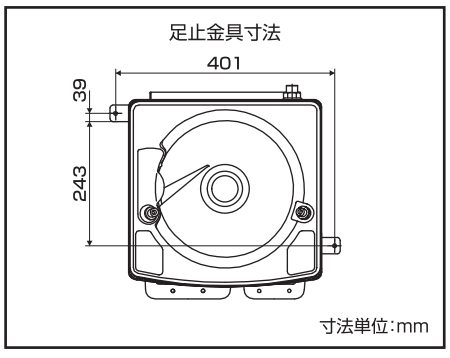
②ガス管…爆発や引火の危険があります。

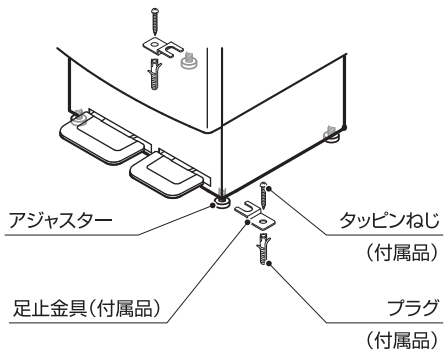
③電話のアースや避雷針…雷のとき大きな電流が流れて危険です。



本体の固定

傾斜のついている場所では、アジャスター（4カ所）の調整により、本製品を水平にして設置してください。転倒防止のため、足止金具（付属品）とビスセット「タッピンねじ・プラグ」（付属品）を使用し、足止金具が対角の位置になるようにアジャスターを床面に固定してください。





冷却タンク内および配管内の洗浄 7

取り付け当初は、水に配管などのにおいが移ることがあります。においが消えるまで、元バルブを開けたあと次の手順でじゅうぶん水を流してください。

①固定枠を右図のように取り付けます。

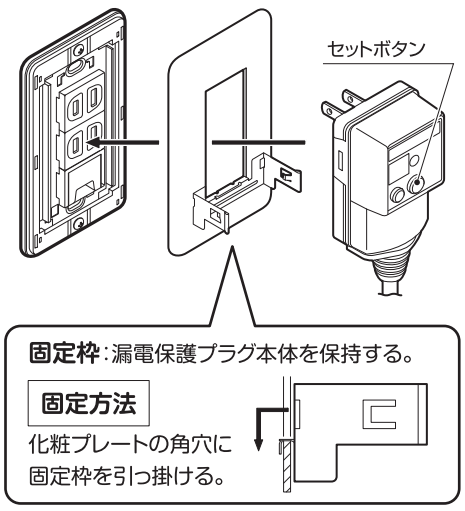
②漏電保護プラグをコンセントに差し込みます。

③水道配管に接続している元バルブを開けます。

④基板ケースの電源スイッチを「ON」にします。

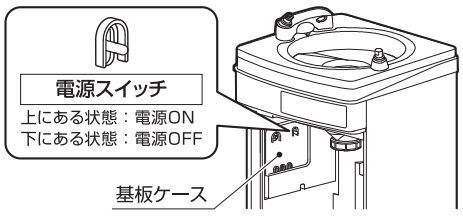
自動洗浄を始めます。

まず、うがい液ノズル・洗浄水ノズルから20秒間水が噴出し、1分間待機後に冷水ノズルとタンク水抜口から2分間水が噴出します。そのあと、1分間待機後に冷水ノズルから10秒間水が噴出します。

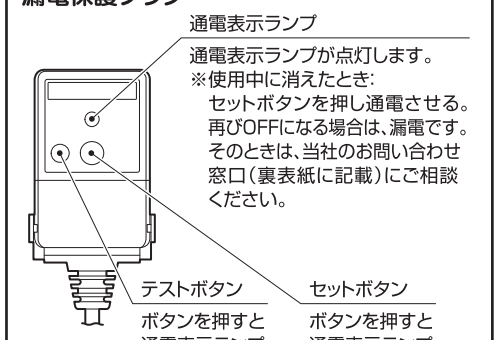


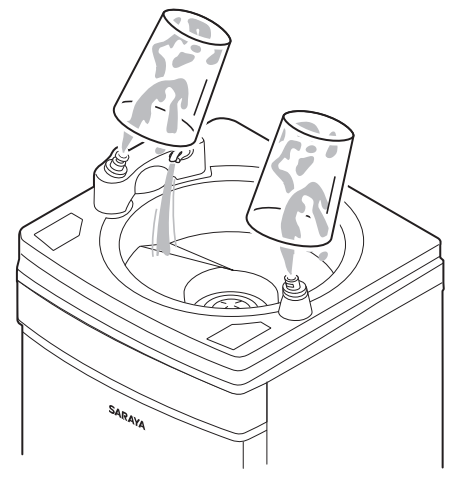
注 意

●取り付け直後の洗浄では、冷却タンク内に水が入ると同時に冷却タンクや配管内の空気が、水と混ざってノズルから大きく噴出します。そのとき、右図のようにコップをノズルにかぶせ、水の飛び散りを防いでください。



漏電保護プラグ



注 意

●漏電保護プラグのセットボタンおよびテストボタンを電源スイッチとして使用しないでください。